

# ミニギャラリー

(敬称略)

▲熊野高校 3年 溝落 理恵

『僕はみんな生きてる』

【評】 やわらかな色調で美味しそうな食べ物や飲み物が描かれていますが、よく見ると・・・ひとつひとつに顔があり、表情があります。見てみると、とても楽しく心が弾んでくるような作品です。



品です。

B1パネルにアクリルカラーで描き、エアブラシで仕上げた作品で、広島県高等学校デザインコンクールで入選した作品です。

▲熊野高校 3年 小原 美加

【評】 楷書の中でも力強い雰囲気のある『孫秋生造像記』という、中国の昔の作品を臨書しています。筆を思いきり豪快に動かして太い線、細い線に注意をしながら全体のバランスもよく考えられたよい作品です。



## 熊野の自然 (169)

### オギ

(イネ科)



オギは、ススキとよく似ています。しかし、慣れると遠くからでも見分けがつくようになります。ススキと違って川岸や水辺などの湿地に生え、穂がススキよりふさふさとしていて、絹のような光沢のある銀白色をしているからです。

初めてオギを見たのは、左伯町の渡ノ瀬ダム近くの川岸でした。びっしりと群生し、白い穂が風になびいていました。近づくと背丈を優に超え2m半ばかりもありました。茎が等間隔に生えています。地下茎が長く伸び、1本ずつ茎が生えるので、ススキのような株にならないのです。穂が出るころには、茎の下部の葉は脱け落ちてしまうのもス

スキと違っていま 熊野町でも、オギは見られます。筆の里工場の北側です。ススキも近くに生えているので比べてみましょう。小穂と呼ばれる小さな穂がたくさん集まって、一つの大きな穂を形づくっています。ススキは、小穂に1本だけ長く突き出したノギがあります。これが、重要な特徴です。オギは、一説には神霊を招き降ろす「招おびぐ」に由来するともいわれていますが、定説はないようです。漢名の「荻」の字が当てられています。

葉は風にそよぎ、よく音を立てるので、秋の到来を告げる草として歌に詠まれてきました。「荻の葉にそよぐ音こそ秋風の人に知らるる始めなりけれ」(『拾遺集』紀貫之)などが知られています。

10月、秋本番です。オギの美しい穂を訪ねてみませんか。

【写真・文 富沢由美子】

## 今月の題字

熊野高校1年生

中井 博文さん



## 熊野町の火災と救急 平成15年8月中

火災	2件
死傷	1人
救急搬送	72件
	66人

## 火災と救急の通報は119番

その他、消防の問合せ・相談はこちら  
海田地区消防署熊野出張所  
TEL854-1103

## 町の人口と世帯数

(前年同月比較)

平成15年8月31日 平成14年8月31日

26,220人...人口...26,245人  
12,807人... 男 ...12,843人  
13,413人... 女 ...13,402人  
9,866 ...世帯数... 9,747

表紙：熊野町学芸員 王海濱 題：『稲穂』



「広報くまの」は再生紙に「エコマーク」と「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。

広報くまの

平成15年10月号